

自己評価・自己点検の取り組み

本校では、学校評価システム導入に向けて、平成18年度（2006）から職員向けの勉強会を開催し、準備を始めた。平成21年度（2009）には、教職員による学校評価委員会を発足させ、教育水準の向上を目指し、自己点検の実践を開始した。職員の職種や担当業務内容によって、判断に困惑する評価項目や内容の指摘があり、改定を繰り返した。結果、200項目余りの小項目レベルに評価点をつけるよりも、中項目レベルに当校ならではの解釈を付け評価することで、見解に差が無く評価できるようになってきた。職種や担当業務内容にかかわらず全職員が、学校評価の自己点検・自己評価に取り組む意義を共通理解して、より良い教育活動の展開につなげることを目標に今後も取り組んでいきたい。

学校評価委員会では、これらの経緯を踏まえ、今年度は、学校運営評価の公表を目標にした。まだ、不十分ではあるが、一歩ずつ前進してきた取り組みと結果を、以下に報告する。

自己点検・自己評価結果

[評価項目] 大項目 11 項目 中項目 50 項目（注釈として 204 の小項目）

[評価期間] 各年度末（基準2月末）

[評価対象] 全職員 24 名（常勤非常勤）（職種別なし）

[評価方法] 評価は5段階の達成度尺度とし、集計した。

- 5・・・90～100% : 十分達成
- 4・・・80～89% : おおむね達成
- 3・・・60～79% : 変化の兆し
- 2・・・40～59% : まだ不十分
- 1・・・40%以下 : 目標の必要性

(%)	23年度	24年度	25年度
教育理念・目標	85	78	81
学生受け入れ	88	97	88
学生生活支援	89	86	81
教育課程・活動	84	83	85
実習環境	87	84	86
研究・研修	62	63	50
管理運営	90	91	87
施設整備	78	82	75
社会貢献	58	60	71
予算	80	80	76
学校評価	78	72	61

